

# BEST AVAILABLE COPY

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 02-161441

(43)Date of publication of application : 21.06.1990

(51)Int.Cl.

G03F 7/031

C08F 2/44

C08F 2/46

(21)Application number : 63-316732

(71)Applicant : DAICEL CHEM IND LTD

(22)Date of filing : 15.12.1988

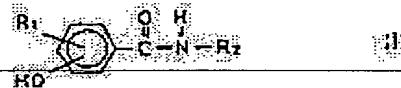
(72)Inventor : TOYA KOJI

### (54) PHOTOPOLYMERIZABLE COMPOSITION

#### (57)Abstract:

**PURPOSE:** To obtain a photopolymerizable compsn. having photosensitive characteristics and reproducibility against preservation for a long period by incorporating a specified hydroxy benzoic acid amide into the compsn.

**CONSTITUTION:** The photopolymerizable compsn. contains a thermoplastic polymer binder, an addition-polymerizable compd. which is liquid or solid at room temp. and under normal pressure, a photopolymn. initiator, and a hydroxy benzoic acid amide compd. expressed by the formula I. In the formula I, R1 is an H atom, alkyl group, (substituted)aryl group, or a halogen atom; R2 is an alkyl group or a (substituted)aryl group. Thus, a photopolymerizable compsn. having stable photosensitive characteristics and improved reproducibility against preservation for a long period, is obtd.



### LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

7/11

⑯日本国特許庁(JP)

⑪特許出願公開

## ⑫公開特許公報(A)

平2-161441

⑬Int.Cl.<sup>5</sup>G 03 F 7/031  
C 08 F 2/44  
2/46

識別記号

MCP  
MDH

府内整理番号

7124-2H  
8215-4J  
8215-4J

⑭公開 平成2年(1990)6月21日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

⑮発明の名称 光重合性組成物

⑯特 願 昭63-316732

⑰出 願 昭63(1988)12月15日

⑱発明者 遠矢 功治 兵庫県尼崎市次屋4-7-1

⑲出願人 ダイセル化学工業株式 大阪府堺市鉄砲町1番地

会社

⑳代理人 弁理士 鈴田 充生

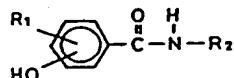
## 明細書

## 1. 発明の名称

光重合性組成物

## 2. 特許請求の範囲

- (1) 热可塑性高分子結合剤と、
- (2) 常温常圧で液体または固体の付加重合性化合物と、
- (3) 光重合開始剤と、
- (4) 一般式(I)



(式中、R<sub>1</sub>は水素原子、アルキル基、置換されていてもよいアリール基またはハロゲン原子、R<sub>2</sub>はアルキル基または置換されていてもよいアリール基を示す)

で表されるヒドロキシ安息香酸アミド化合物とを含有することを特徴とする光重合性組成物。

## 3. 発明の詳細な説明

## [産業上の利用分野]

本発明は光重合性組成物に関し、より詳しくは、経時的にも感光性が安定し、再現性に優れた光重合性組成物に関する。

## [従来の技術と発明が解決しようとする課題]

光重合性組成物は、プリント回路基板、集積回路、金属レリーフ像や印刷版の製造に広く使用されている。この光重合性組成物は、通常、熱可塑性高分子結合剤、付加重合性化合物及び光重合開始剤等を含有している。そして、有機溶媒に溶解した溶液状光重合性組成物やドライフィルム状の光重合性組成物を、プリント基板用の銅張り層板や微細加工に供する金属基板等の表面に塗布またはラミネートして積層し、活性光線により所定のパターンを露光し、露光部を硬化させ、未露光部を現像液で現像することにより、レジスト像を形成している。従って、光重合性組成物には、活性光線に対する感度、感光硬化速度が大きいことが要求されるだけでなく、感光硬化特性が安定していることが必要とされる。また保存中に特性の劣

FPC4-0358-
00W0-XX
04.11.02
SEARCH REPORT

化がなく、長期に亘り感光硬化性が安定している必要がある。

しかしながら、従来の光重合性組成物によると、光重合開始剤と熱可塑性高分子結合剤等との相溶性等が十分でないためか、一定の光量を照射しても硬化性にばらつきが生じ、再現よく感光硬化させることが困難である。また長期保存により再現性が低下する。

本発明の目的は、安定した感光特性を示し、再現性に優れた光重合性組成物を提供することにある。

#### [発明の構成]

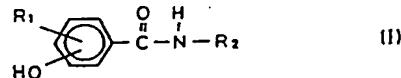
本発明者らは、観察研究の結果、特定の化合物を含有する光重合性組成物が安定性及び再現性に優れていることを見いだした。すなわち本発明は、

- (1) 热可塑性高分子結合剤と、
- (2) 常温常圧で液体または固体の付加重合性化合物と、
- (3) 光重合開始剤と、
- (4) 一般式(I)

置換された置換スチレン、例えば、p-メチルスチレン、p-エチルスチレンp-(tert-ブチル)スチレン等が例示され、少なくとも一種使用される。スチレン系モノマーのうちスチレン、p-メチルスチレン等が好ましい。

アクリル酸エステルとしては、例えば、アクリル酸メチル、アクリル酸エチル、アクリル酸プロピル、アクリル酸イソプロピル、アクリル酸ブチル、アクリル酸イソブチル、アクリル酸-tert-ブチル、アクリル酸ベンチル、アクリル酸ヘキシル、アクリル酸ヘプチル、アクリル酸オクチル、アクリル酸-2-エチルヘキシル、アクリル酸シクロヘキシル、アクリル酸-2-フェノキシエチル、アクリル酸フェノキシアロヒル等が例示される。またメタクリル酸エステルとしては、上記アクリル酸エステルに対応したメタクリル酸エステルが例示される。これらのアクリル酸エステル及びメタクリル酸エステルは一種以上使用される。

なお、アルカリ現像液で、未露光部分を除去し現像したり、硬化膜を剥離する場合には、カルボ



(式中R<sub>1</sub>は水素原子、アルキル基、置換されていてもよいアリール基またはハロゲン原子、R<sub>2</sub>はアルキル基または置換されていてもよいアリール基を示す)で表されるヒドロキシ安息香酸アミド化合物とを含有する光重合性組成物により、上記課題を解決するものである。

まず、熱可塑性高分子結合剤について説明する。熱可塑性高分子結合剤としては、特に限定されず、種々の熱可塑性樹脂が使用できるが、アクリル酸エステル及び/又はメタクリル酸エステルの単独または共重合体や、スチレン系モノマーと、アクリル酸エステル及び/又はメタクリル酸エステル等との共重合体が好ましい。

スチレン系モノマーとしては、スチレン、α-位がアルキル基またはハロゲン原子で置換されたα-置換スチレン、例えば、α-メチルスチレン、α-クロロスチレン等、置換スチレン、例えば、

キシリル基を有する付加重合单量体を共重合させることができが有効である。このような付加重合性单量体としては、例えば、マレイン酸、イタコン酸、メタクリル酸、アクリル酸等が挙げられる。

熱可塑性高分子は、適宜の割合の各モノマーで構成できる。

付加重合性化合物としては、常温常圧で液体または固体であり、分子中に2個以上のアクリロイル基やメタクリロイル基を有するアクリレートやメタクリレート等が挙げられる。

分子中に2個のアクリロイル基を有するアクリレートとしては、例えば、エチレングリコールジアクリレート、ジエチレングリコールジアクリレート、トリエチレングリコールジアクリレート、テトラエチレングリコールジアクリレート、ポリエチレングリコールジアクリレート、プロピレングリコールジアクリレート、ジプロピレングリコールジアクリレート、トリプロピレングリコールジアクリレート、テトラプロピレングリコールジアクリレート、ポリプロピレングリコールジアクリレート、

リレート、1, 4-ブタンジオールジアクリレート、ネオベンチルグリコールジアクリレート、1, 6-ヘキサンジオールジアクリレート、ビスフェノールAのエチレンオキサイド付加物のジアクリレート、ビスフェノールAのプロピレンオキサイド付加物のジアクリレート、水素化ビスフェノールAのエチレンオキサイド付加物のジアクリレート、水素化ビスフェノールAのプロピレンオキサイド付加物のジアクリレート、N, N'-メチレンビスアクリルアミド、N, N'-ペンジリデンビスアクリルアミド等が例示される。

分子中に3個以上のアクリロイル基を有するアクリレートとしては、例えば、グリセリントリアクリレート、トリメチロールプロパントリアクリレート、トリメチロールエタントリアクリレート、ペンタエリスリトールトリアクリレート、ペンタエリスリトールテトラアクリレート、ジペンタエリスリトールヘキサアクリレート等が例示される。

分子中に2個以上のメタクリロイル基を有するメタクリレートとしては、上記アクリレートに対

応するメタクリレートが例示される。

上記アクリレート及びメタクリレートは、少なくとも一種使用され、両者を混合して使用してもよい。なお、單官能性のアクリレート及びメタクリレートを適宜併用してもよい。付加重合性化合物の量は、光重合性組成物の特性を損わない範囲であれば特に限定されないが、通常、熱可塑性高分子結合剤100重量部に対して10~200重量部、好ましくは20~150重量部程度である。

光重合開始剤としては、置換又は非置換の多核キノン類、芳香族ケトン類、ベンゾイン類、ベンゾインエーテル類、置換又は非置換のチオキサントン類などの種々のものが使用できる。

置換又は非置換の多核キノン類としては、例えば、2-メチルアントラキノン、2-エチルアントラキノン、2-アロヒルアントラキノン、2-tert-ブチルアントラキノン、オクタメチルアントラキノン、1, 4-ジメチルアントラキノン、2, 3-ジメチルアントラキノン、ベンズ[a]アントラキノン、ベンズ[b]アントラキノン、

2-フェニルアントラキノン、2, 3-ジフェニルアントラキノン、1-クロロアントラキノン、2-クロロアントラキノン、3-クロロ-2-メチルアントラキノン、1, 4-ナフタキノン、9, 10-フェナントラキノン、2-メチル-1, 4-ナフタキノン、2, 3-ジクロロナフタキノン、7, 8, 9, 10-テトラヒドロナフセンキノン等が例示される。

芳香族ケトン類としては、例えば、ベンゾフェノン、4, 4'-ビス(ジメチルアミノ)ベンゾフェノン、4, 4'-ビス(ジエチルアミノ)ベンゾフェノン、4-メトキシ-4'-ジエチルアミノベンゾフェノン等が例示される。

ベンゾイン類及びベンゾインエーテル類としては、例えば、ベンゾイン、メチルベンゾイン、エチルベンゾイン、ベンゾインメチルエーテル、ベンゾインエチルエーテル、ベンゾインフェニルエーテル等が例示される。

置換又は非置換のチオキサントン類としては、例えば、チオキサントン、2-クロロチオキサン

トン、2-メチルチオキサントン、2-エチルチオキサントン、2-イソアロヒルチオキサントン、2, 4-ジメチルチオキサントン、2, 4-ジエチルチオキサントン、2, 4-ジブチルチオキサントン等が例示される。

また他の光重合開始剤として、ベンジル、 $\alpha$ -ヨージエトキシアセトフェノンや、ベンゾフェノンオキシムアセテート等のオキシムエステル類等が例示される。

上記光重合開始剤は、一種または二種以上使用され、同種または異種の光重合開始剤を組合せて使用してもよい。光重合開始剤の量は、硬化速度及び硬化膜の特性低下させない範囲で選択できるが、通常、前記熱可塑性高分子100重量部に対して0.01~30重量部、好ましくは1~15重量部である。

なお、上記光重合開始剤は、例えば、2, 4, 5-トリアリールイミダゾリル二量体、2-メルカプトベンゾオキサゾール、ロイコクリスタルバイオレット、トリス(4-ジエチルアミノ-2-

メチルフェニル)メタンや、脂肪族又は芳香族第3級アミン、例えば、N-メチルジエタノールアミン、p-ジメチルアミノ安息香酸エチルエステル等と組合せて使用するのが有用である。

そして、本発明の光重合性組成物は、一般式(I)で表されるヒドロキシ安息香酸アミド化合物を含有している。一般式(I)において、R<sub>1</sub>及びR<sub>2</sub>のアルキル基としては、メチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチル、tert-ブチル、ペンチル、ヘキシル、ヘプチル、オクチル基等が例示される。R<sub>1</sub>及びR<sub>2</sub>の置換されていてもよいアリール基としては、フェニル、ナフチル、4-メチルフェニル、3,5-ジメチルフェニル、4-クロロフェニル基等が例示される。またR<sub>1</sub>のハロゲン原子としては、臭素、塩素、フッ素等が例示される。

上記一般式(I)で表される化合物のうちサリチル酸アミド化合物が好ましい。好ましいサリチル酸アミド化合物としては、例えば、サリチル酸メチルアミド、サリチル酸エチルアミド、サリチル酸

プロピルアミド、サリチル酸ブチルアミド、サリチル酸ヘプチルアミド、サリチル酸ヘキシルアミド、サリチル酸ナフチルアミド、サリチル酸アニリド、サリチル酸メチルアニリド等が挙げられる。

ヒドロキシ安息香酸アミド化合物は、広い範囲で添加できるが、通常、熱可塑性高分子結合剤に100重量部に対して、0.1~30重量部、好ましくは1~15重量部である。

本発明の光重合性組成物は、必要に応じて、熱重合反応を抑制し、貯蔵安定性を高める安定剤、発色剤、レジスト像の判別を容易にする着色剤、柔軟性を付与する可塑剤等を含有していてもよい。

安定剤としては、例えば、p-メトキシフェノール、ハイドロキノン、ハイドロキノンモノメチルエーテル、tert-ブチルカテコール等が例示され、光重合性を阻害しない範囲で適宜量使用される。

発色剤としては、トリアリールメタン系染料のロイコ体が有用であり、例えば、ロイコクリスタルバイオレット、ロイコマラカイトグリーンや、これらロイコ体の塩酸塩、硫酸塩等の鉱酸塩、p-

トルエンスルホン酸塩等が挙げられる。また着色剤としては、例えば、クリスタルバイオレット、マラカイトグリーン、ビクトリアブルー、メチレンブルー等が例示される。可塑剤としては、例えば、ジエチルフタレート、ジブチルフタレート、ジヘプチルフタレート、ジオクチルフタレート等のフタル酸エステル類；ジオクチルアジベート、ジブチルジグリコールアジベート等の脂肪酸エステル類；トリメチルホスフィン等のリン酸エステル類；トルエンスルホン酸アミド等のスルホン酸アミド類等が例示される。

本発明の光重合性組成物は、有機溶媒を含有しない液状であってもよいが、通常、有機溶媒に溶解ないし分散した液状またはドライフィルムの形態で使用される。上記有機溶媒としては、例えば、メタノール、エタノール、ブロバノール等のアルコール類；酢酸エチル等のエステル類、アセトン、メチルエチルケトン等のケトン類、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン等のエーテル類、塩化メチレン等のハロゲン化炭化水素類等が例示され

る。ドライフィルムは、例えばポリエチレンテレフタレートフィルム等の基体フィルムに重合性組成物を塗布し、乾燥した後、ポリエチレンフィルム等のカバーフィルムを加圧ロール等でラミネートすることにより作製される。ドライフィルムの光重合性組成物の膜厚は解像度及び作業性等を低下させない範囲であれば特に制限されないが、通常5~100μ、好ましくは20~70μである。

本発明の光重合性組成物からなる感光層は、通常、有機溶媒を含有する液状の光重合性組成物を、プリント基板等の支持体に印刷または塗布し、有機溶媒を除去したり、ドライフィルムのカバーフィルムを剥離し上記支持体にゴムロール等でラミネートすることにより形成される。

感光層は、化学的に活性な放射線を発生させる光源、例えば、低圧水銀灯、超高圧水銀灯、キセノンランプなどの光源で露光される。露光は、通常、必要に応じて感光層上にカバーシートを設け、ネガまたはポジ型のバターンマスクを用い、接触法または投影法により行なわれる。未露光部を、

現像液で現像すると前記パターンに応じたレジスト像が得られる。上記現像液としては、パークロロエチレン、トリクロロエタンなどの有機溶媒からなる現像液や塩基性化合物を含有するアルカリ現像液などが使用できる。アルカリ現像液の塩基性化合物としては、例えば、炭酸カリウム、炭酸ナトリウム、炭酸水素カリウム、炭酸水素ナトリウムケイ酸ナトリウム、リン酸ナトリウム等の無機塩基：トリメチルアミン、トリエチルアミン、エタノールアミン、ジエタノールアミン、トリエタノールアミン、モルホリン、ピリジン等の有機塩基が例示される。なお、アルカリ現像液には、エチレングリコールモノブチルエーテル等の有機溶媒が含有されていてもよい。

また回路パターンを形成する場合には、レジスト像を形成した後、マッキ液やエッチング液で処理され、上記レジスト像は水酸化ナトリウム等の強アルカリ水溶液又は塩化メチレン等の有機溶媒で剥離除去される。

## 〔発明の効果〕

本発明の光重合性組成物によれば、ヒドロキシ安息香酸アミド化合物を含有しているので、安定した感光特性を示し、再現性に優れている。従つて、本発明の光重合性組成物は、プリント配線板、回路基板、金属レリーフ像や印刷版等を製造する際のフォトレジストとして有用である。

## 〔実施例〕

本発明を実施例により具体的に説明する。

## 実施例1、2及び比較例

以下の成分に、サリチル酸アニリド0.8g（比較例）、2g（実施例1）及び3g（実施例2）を混合して光重合性組成物を得た。

メタクリル酸12重量%	アクリル酸8重量%
メタクリル酸メチル45重量%	アクリル酸2
フェノキシエチル35重量%	の共重合体
5.0g	
トリメチロールアロバントリアクリレート	
1.5g	
ノナエチレングリコールジメタクリレート	
1.0g	

2,4-ジエチルチオキサントン	0.8g
p-ジメチルアミノ安息香酸エチル	3g
2-(o-クロロフェニル)-3,4-ジフェニルイミダゾリル二量体	1.5g
ロイコクリスタルバイオレット	0.3g
ダイヤモンドグリーンGH	0.03g
メチルエチルケトン	7.0g
テトラヒドロフラン	1.0g

得られた比較例、実施例1及び実施例2の光重合性組成物を、それぞれ膜厚25μmのポリエチレンテレフタレートフィルム支持体に塗布し、温度75°Cで乾燥し、感光性フィルムを得た。感光層の厚さは50μmであった。感光性フィルムを研磨した銅張積層板に、100°Cに加熱したゴムローラーによって積層した。ストファー21段ステップアタブレットを感光性フィルム上に重ね、2kWの超高压水銀灯で70cmの距離から積算光量30mJ/cm<sup>2</sup>となるように照射し、硬化させ、ポリエチレンテレフタレートフィルム支持体を剥離させた。次いで、30°Cの1%炭酸ナトリウム水溶液

で現像したところ、銅張積層板上に樹脂レリーフ像が得られた。そして、現像により未露光部の光重合性組成物が除去されたストファーステップアタブレットに対応する段数を感度の指標とした。

上記操作を繰返し、感度の変動幅を調べた。また6ヶ月保存後の感度変化を調べたところ、表に示す結果を得た。

表

	添加量	感度の変動幅 (相対値)	6ヶ月後の 変化量(段)
比較例	0	1.0	2
実施例1	2g	0.7	1
実施例2	3g	0.5	0

表に示すように、比較例の光重合性組成物は感度の変動及び経時変化が大きいのに対して、実施例1及び2の光重合性組成物は感度が経時的にも安定していた。

特許出願人 ダイセル化学工業株式会社  
代理人 井理士 織田充生

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

**BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**